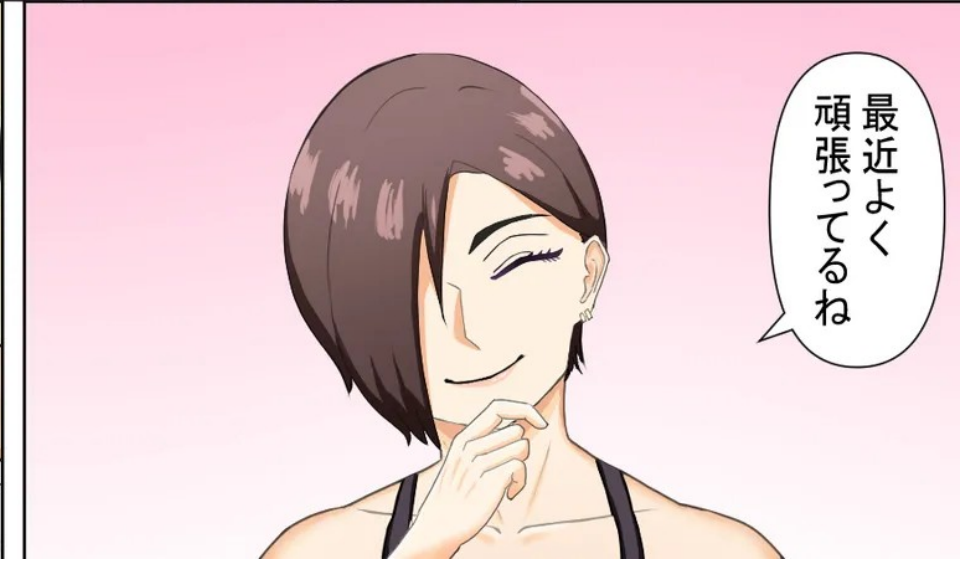






高野君は
今から帰るといー？

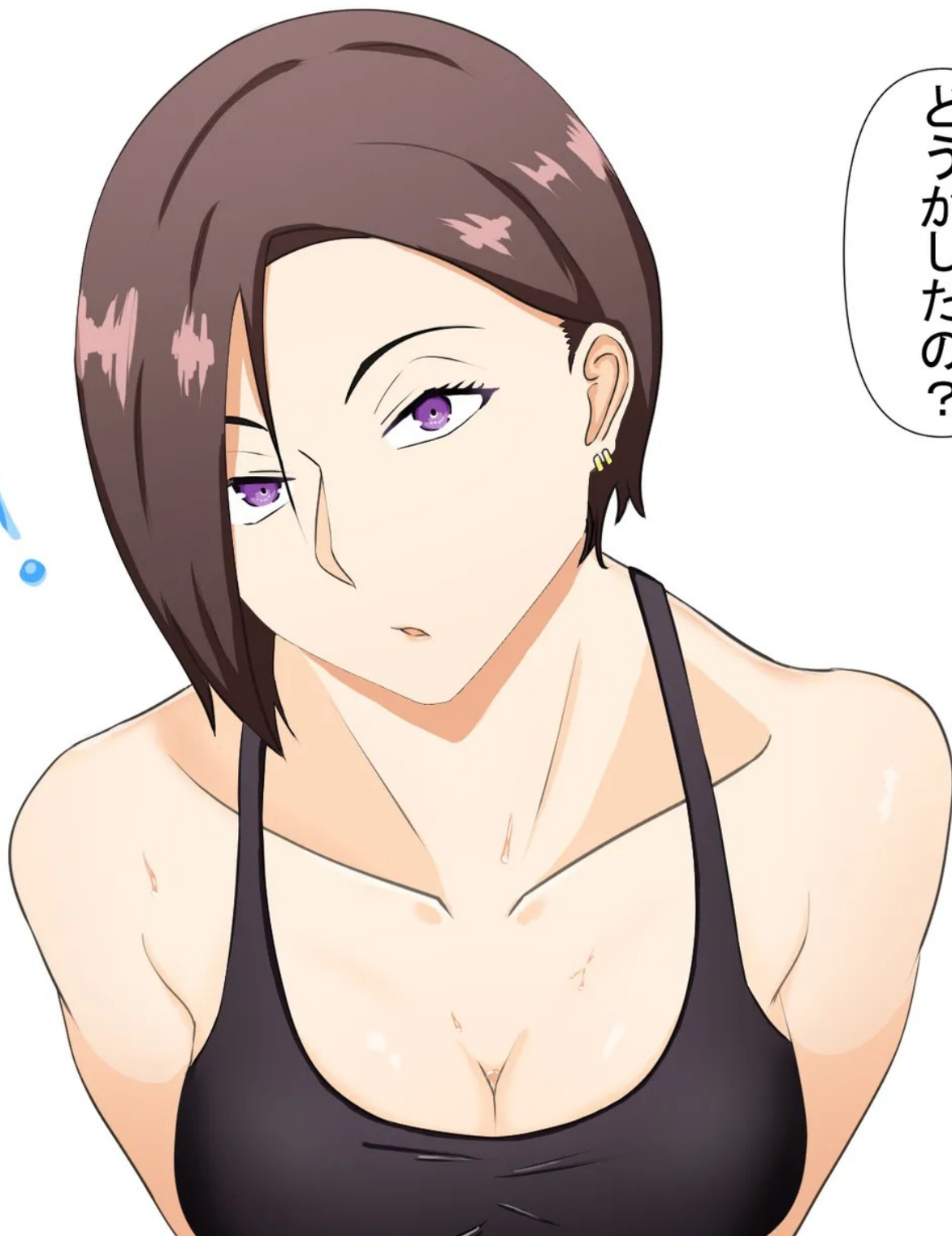
黒瀬さんとは
トレーニングだったり
少し世間話を
する仲間だけど…

ええ

そろそろ
帰ろうかなと…

黒瀬さんって凄く美人だし
身体だってエロいから
目のやり場に
困っちゃうんだよね…

どうかしたの？

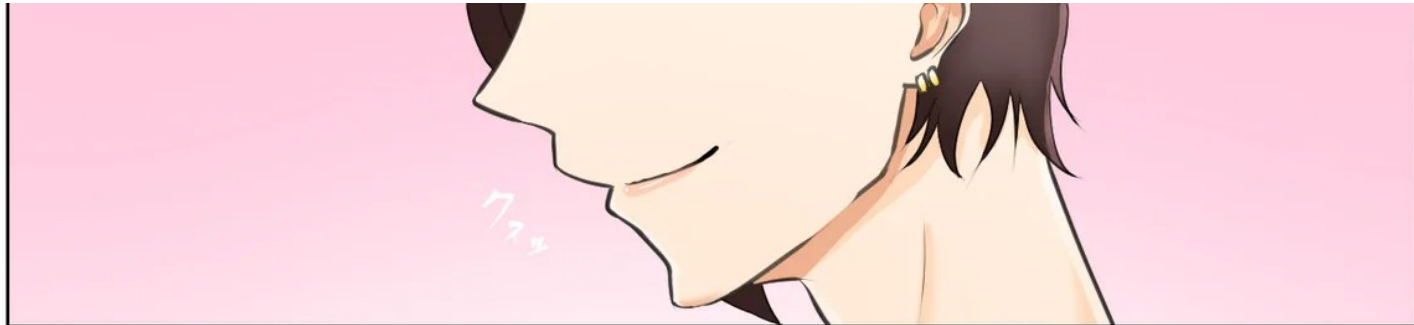


あ

いえ
なんでも

ないです…





ねえ…
さっきから
ジロジロ見てるけど

私の身体

そんなに気になるの？

えっ!!



こっ…
凄く大きくなってるわよ…

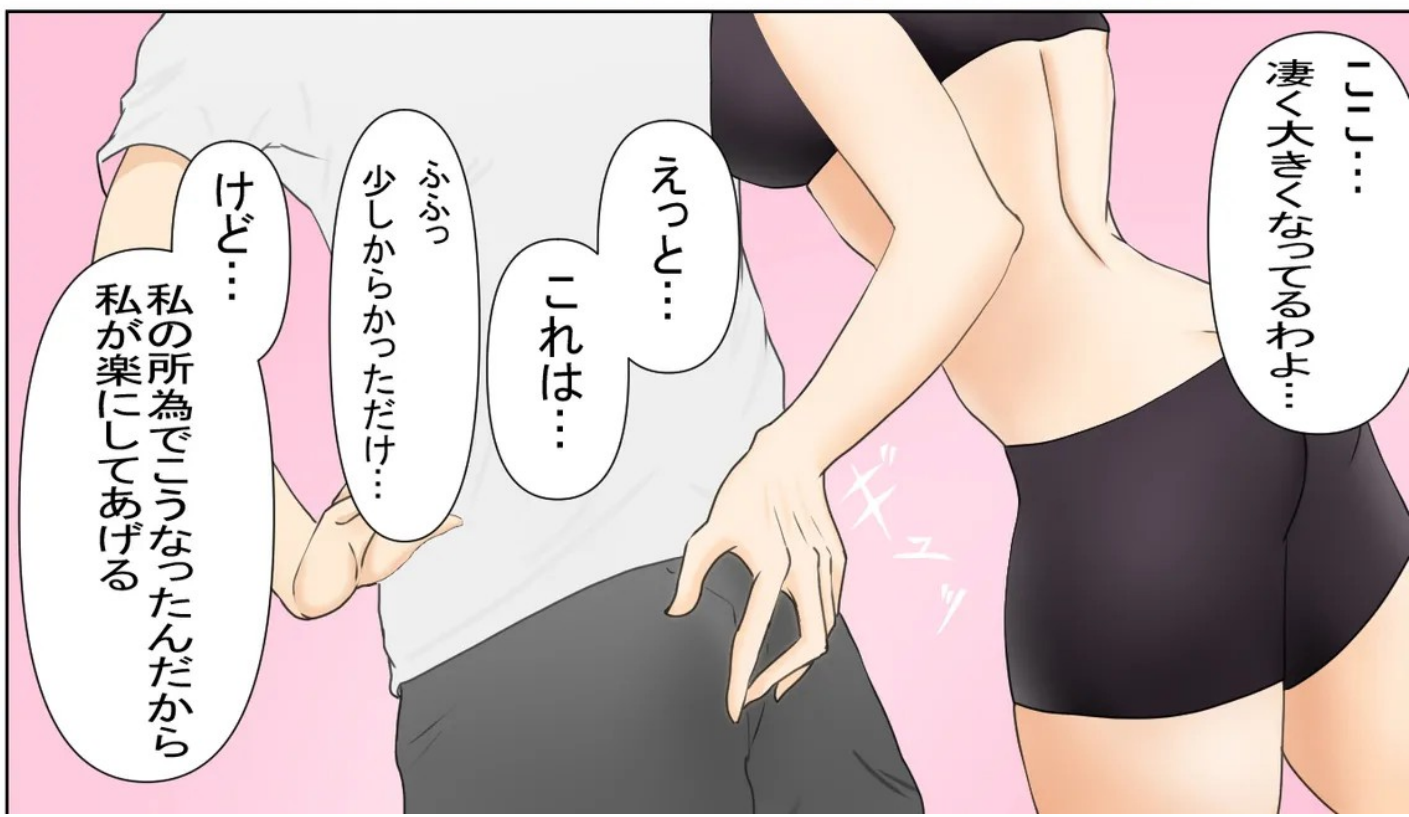
えっと…

これは…

ふふっ
少しからっただけ…

けど…

私の所為でこうなったんだから
私が楽にしてあげる





シャワール



高野君

気持ちいい？

黒瀬さんっ！

こんなの

ヤバイですよ！

それに

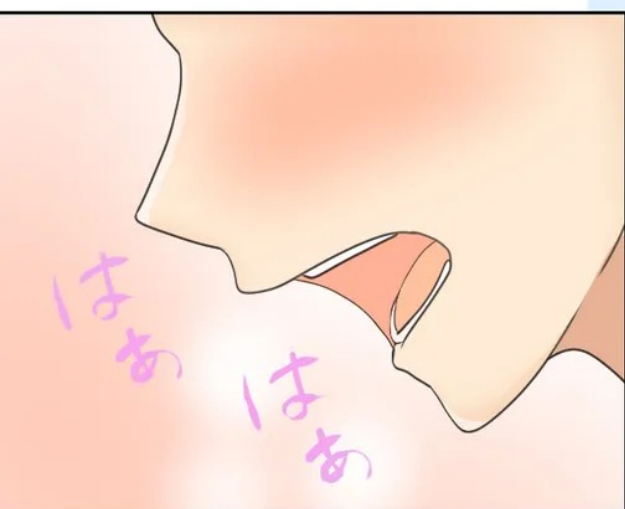
もし

見られでもしたら...



そんな事言ってる
割りに

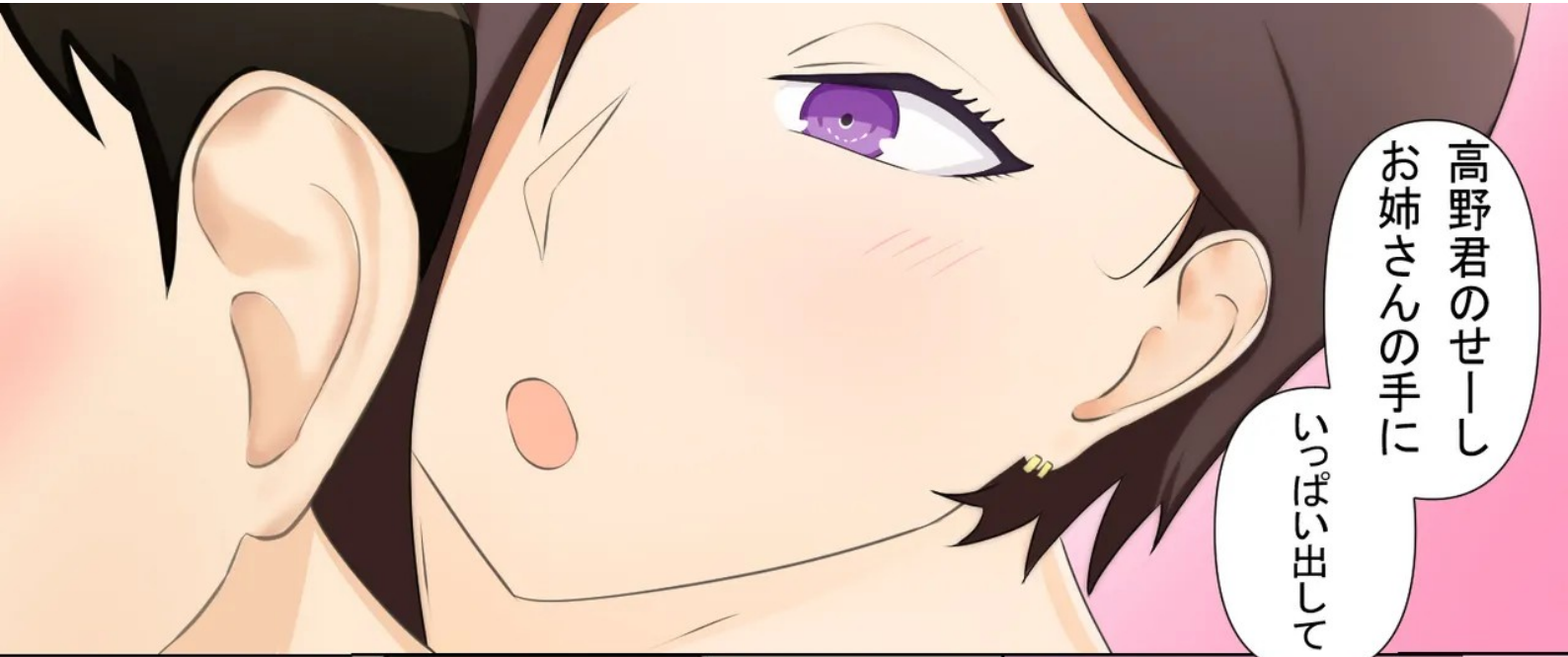
全然抵抗
しないのね



黒瀬さんっ…！
俺っ… もっっ…

フフッ

我慢じゃなくていいのよ



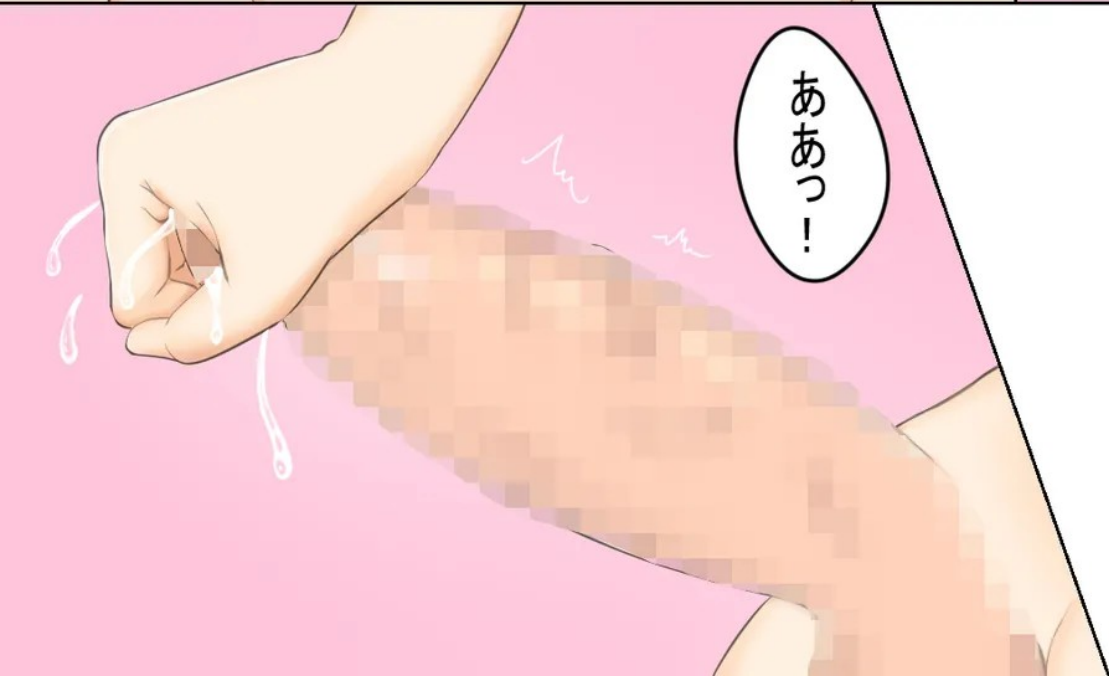
高野君のせーし
お姉さんの手に

いっしょにしよう



っ!!

射精ます!



ああっ!

イキなさいっ!!

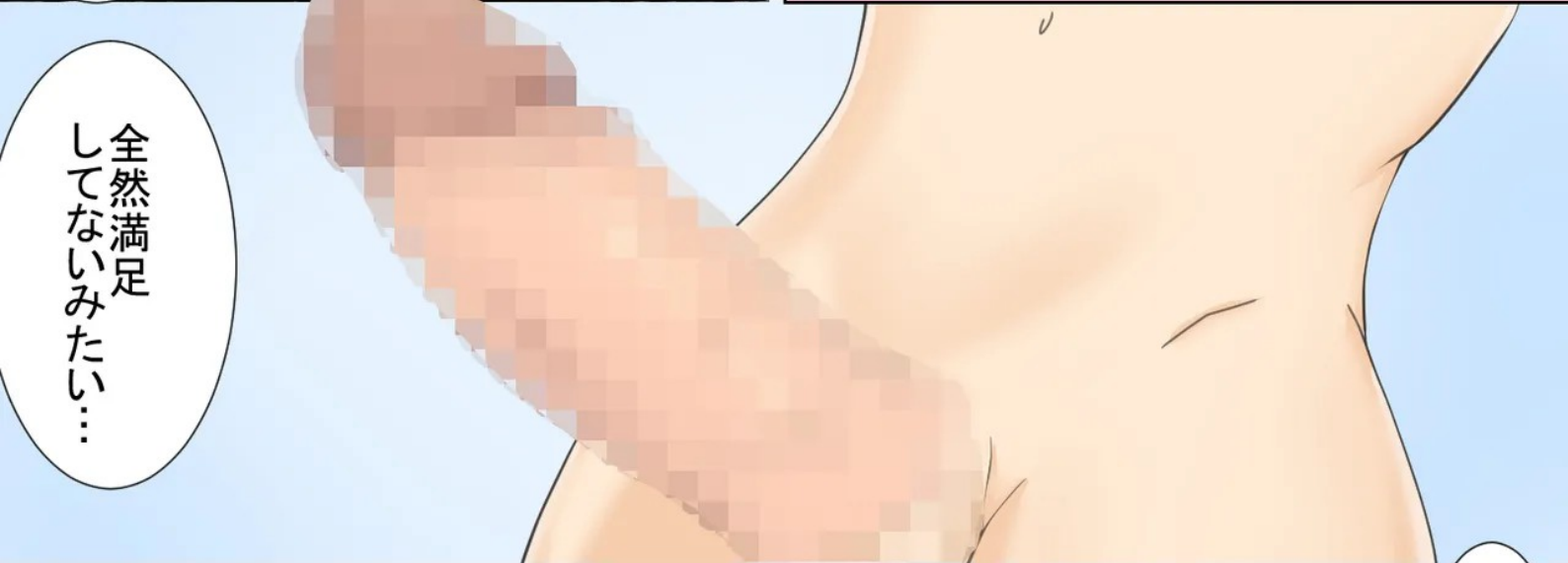


でも
こんなに沢山出したのに…
高野君のお〇んぽ

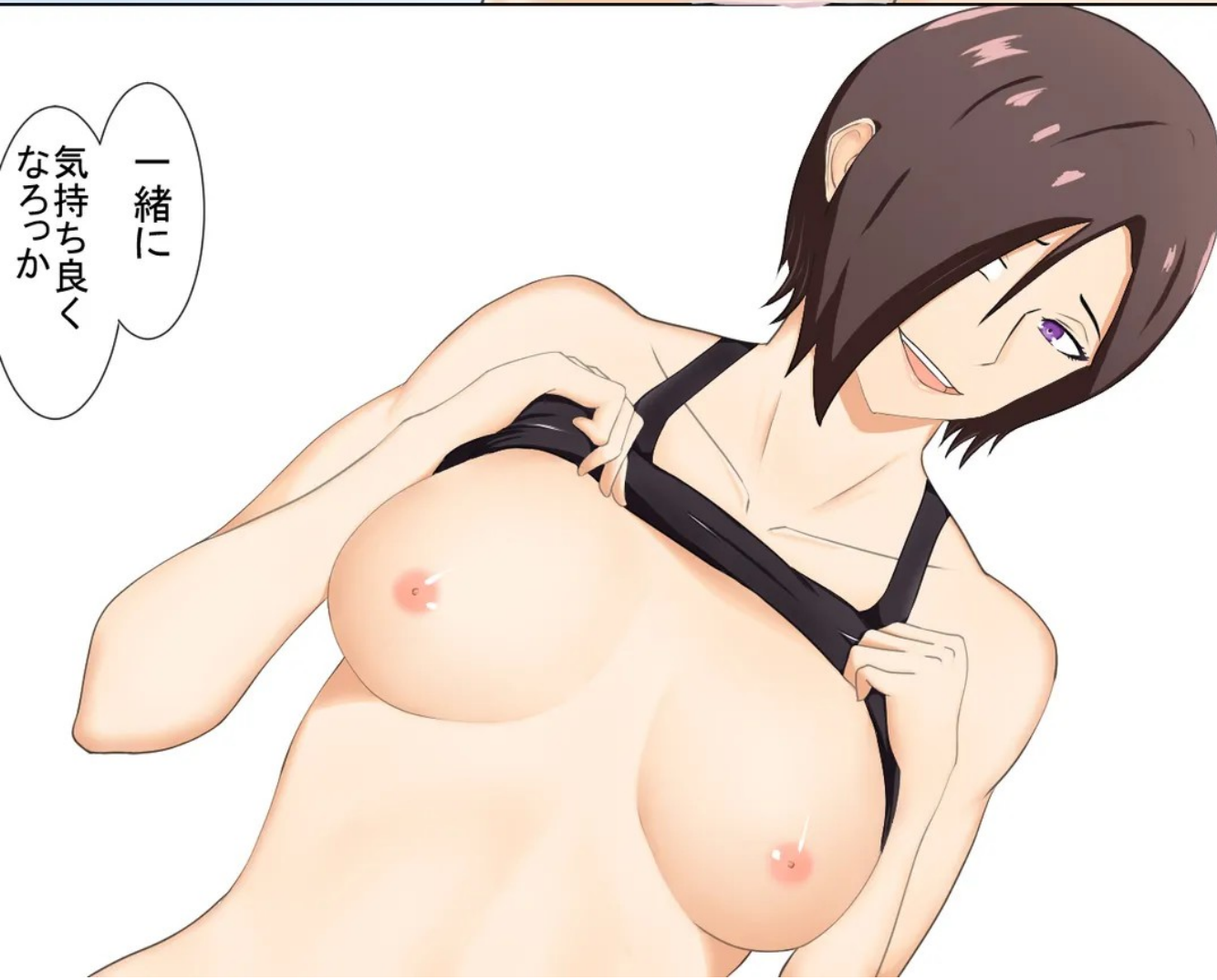


手がベトベトに
なっちゃった…

凄い量ね…



全然満足
してないみたい…



一緒に

気持ち良くなろっか

じゃあ
次は



そんなに
緊張しないで

フッフ





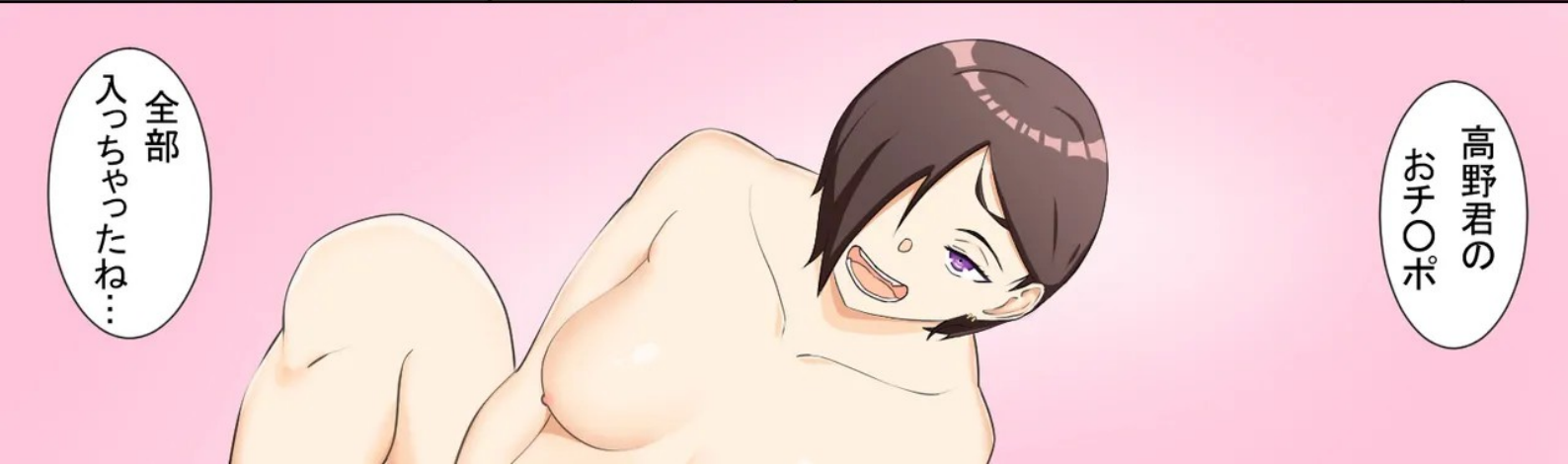
…っ！

ズッ



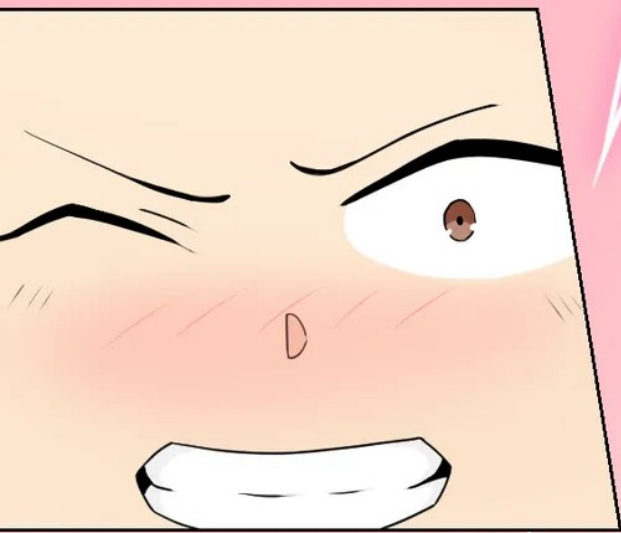
んっ…♡

はあ…♡



高野君の
おチ○ポ

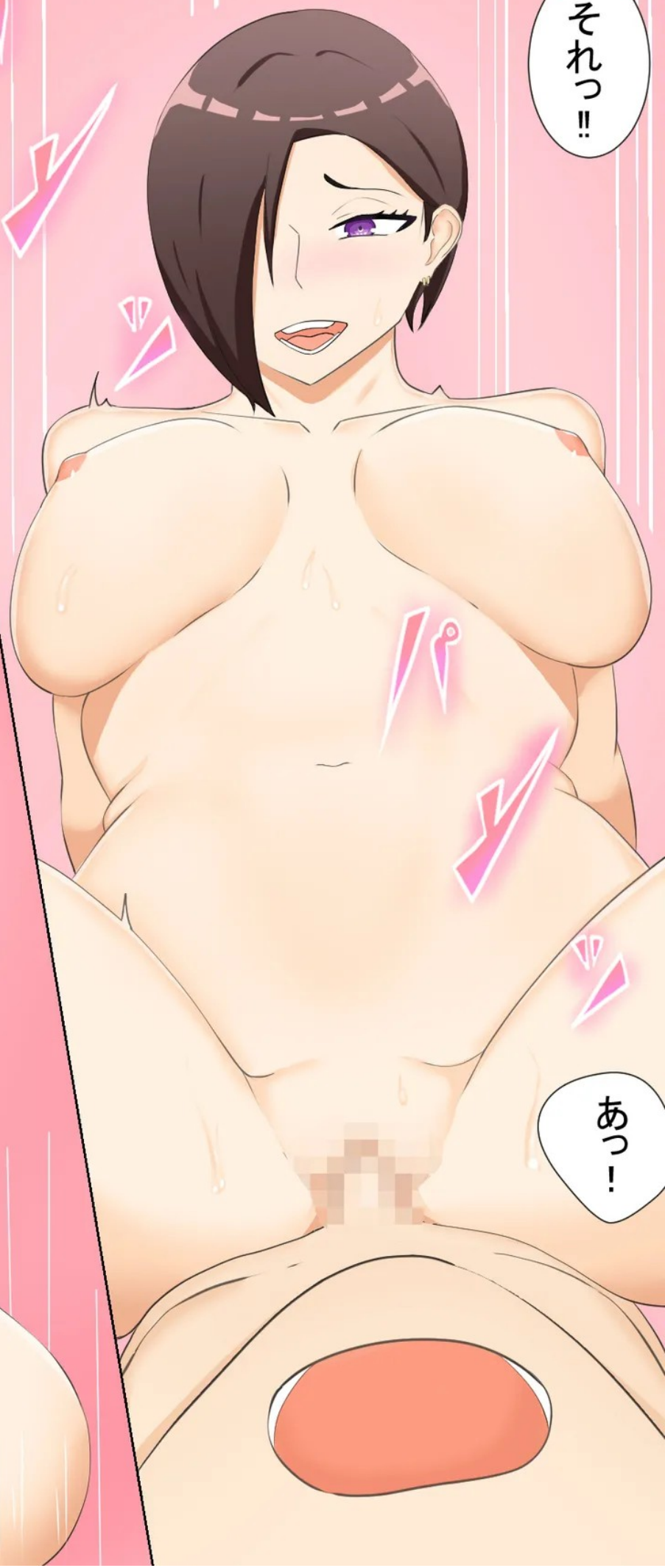
全部
入っちゃったね…



それっ!!



ガマンしないで
いいのよっ



あっ!



高野君の
精子

全部絞りとって
あげるからね



黒瀬さんっ!!
このままだとナカにつ!!



いっのめ

あっっ!!



んっ
♡

ド
ク
ッ

ド
ク
ッ

